

契 約 変 更 理 由 書

神 戸 市

工 事 名	篠原低層配水本管整備工事
<p>契約変更後の概要</p> <p>工事概要：土圧式推進工：φ1200 1式 立坑工：発進立坑2箇所、到達立坑1箇所 薬液注入工：1式 管挿入工：φ900 区間① L=125.4m、区間② L=323.7m 布設延長 φ900-80.3m、φ600-0.8m、φ300-33.4m、φ100-0.4m、φ75-4.0m 撤去延長 φ900-3.8m、φ300-3.8m、φ900(SP)-11.7m</p>	
<p>契約変更の理由</p> <p>1. 薬液注入工の追加 推進機が立坑へ到達した際に、立坑内へ多量の地下水の流入が生じた。灘五郷酒造組合との協議により地下水への影響を抑えるため、追加で薬液注入工を実施して地下水の流入を止めた。これにより地盤改良工が増工となる。</p> <p>2. 立坑常時排水の追加 各立坑内において地下水の滲み出しがあったため、常時排水を実施した。これにより立坑工が増工となる。</p> <p>3. 転石処分の発生 施工範囲が河川横であったことから、立坑掘削、管工事等における掘削土に転石が多量に含まれていた。これより転石処分が生じたため、付帯工が増工となった。また、転石分の土砂処分量が減となったため、推進工が減工となった。</p> <p>4. 残置管・バルブ室への充填の追加 既設管撤去に際して試掘を行った結果、篠原公園西側の既設管が想定より河川に寄っていることが判明した。これにより、撤去掘削による河川護岸への影響が懸念されたため、撤去を断念して残置することとなった。また、都賀川公園内にあった既設管路のバルブ室についても空隙充填を行うこととなった。これらにより、追加で流動化処理土による充填が生じたため、付帯工が増工となった。</p>	